

ペットボトルの水平リサイクルの導入について

1 本市におけるペットボトルリサイクルの現状

リサイクル資源の分別収集等で回収したペットボトルは、四半期ごとに決定する再商品化事業者によりリサイクルされている。

リサイクル先の用途については指定していないが、現在のところ、ペットボトルへ水平リサイクルされている。

なお、令和6年4月から、これまでリサイクル資源売却金及び奨励金の対象でなかったペットボトルを対象とし、市民のリサイクル意識及びリサイクル率の向上を図っている。

2 今後の取り組み

本市においてもゼロカーボンシティの実現に向け、ペットボトルの水平リサイクルの導入への調査及び検討を進める。

また、大手飲料メーカーや地元企業と連携し、水平リサイクルの仕組み作りの調査及び検討を進める。

3 導入のメリット

(1) 循環型社会の実現

- ・ペットボトルを作る際、新たな石油由来原料を使わずに資源循環することで、循環型社会の実現に繋がる。
- ・ペットボトルを海外に輸出せず国内でリサイクルすることで、資源の国内循環に繋がる。

(2) 二酸化炭素排出量の削減

- ・石油由来原料から新たなペットボトルを作るのに比べ、二酸化炭素排出量を約60%削減できることから、脱炭素社会の実現に繋がる。
- ・ゼロカーボンシティ宣言をしている本市の方向性と合致するものである。

(3) リサイクル先に見える化

- ・リサイクル先に見える化することにより、住民の分別意欲の向上に繋がる。